

いもう 葦毛通信



サワギキョウ

2025年10月27日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町三丁目1
TEL: 0532-56-6060

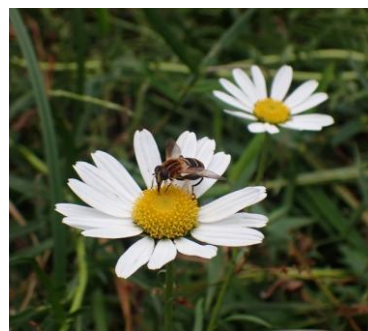
No. 176

1、三太郎池湿地観察会

豊橋市指定天然記念物「三太郎池湿地」の見学会を以下の予定で開催します。三太郎池湿地は、保護のため常時公開はしていません。愛知県絶滅危惧ⅠA類のミコシギクは自生地点近くまで行ける観察路を整備します。この機会にぜひご覧ください。

ミコシギクの開花数は2022年が84輪、2023年が102輪、2024年が67輪でした。2024年に開花数が減ったのは、カサスゲやツルヨシに負けてミコシギクの成長が悪かったことが原因と考えられました。そこで、今年は5月にカサスゲとツルヨシを刈り取り、ミコシギクが成長できるようにしました。すると、2024年に42本だった茎数が、148本まで増加し、ツボミが上がってきた茎は90本以上あります。すでに開花は始まっており、10月25日では開花は60輪、ツボミは72輪あり、合計132輪で過去最高になりました。これから咲く花も多くあり、11月1日にはミコシギクは満開になると思われます。

- 1 開催日時 11月1日(土) 9:30~12:00
- 2 集合場所 岩崎広場(岩崎町字長尾ほか)
- 3 参加申込 現地受付(事前申し込み不要、少雨決行)
- 4 駐車場 高山広場内駐車場(飯村町字高山11-19)
会場まで徒歩約10分
葦毛湿原第2駐車場(岩崎町字米山25)
会場まで徒歩約20分
- 5 交通機関 豊鉄バス飯村岩崎線(豊橋駅前発赤岩口ゆき、赤岩口発豊橋駅行き)「影岩」停留所下車、南へ徒歩約5分
- 6 問い合わせ 豊橋市文化財センター(☎0532-56-6060)

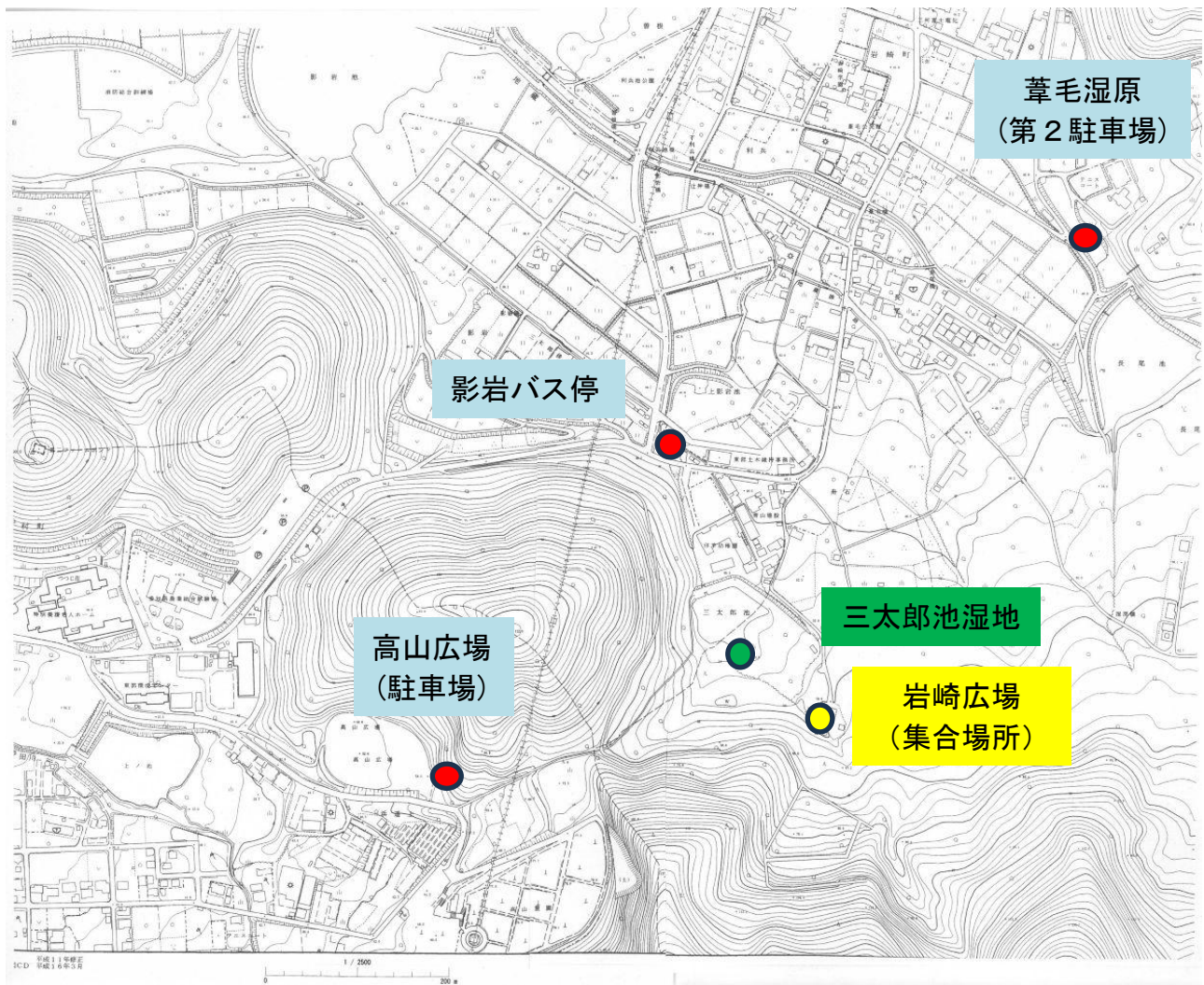


ミコシギク



ミコシギク開花状況(2025年10月25日)

三太郎池湿地案内図



2、ミコシギクの発芽・生育実験

三太郎池湿地のミコシギクは2018年に開花数が1輪になってしまい、絶滅寸前の状態になりました。葦毛湿原で行っている大規模植生回復作業と同じ方法で植生回復を行い、その経過は前号の葦毛通信 175 号で報告しました。自生地での植生回復作業は順調に進みミコシギクは順調に個体数が増えています。

2025 年は新たにミコシギクの発芽・生育実験を行っています。2024 年 12 月 22 日に三太郎池湿地でミコシギクの種子を採取して冷蔵庫で保管し、2025 年 3 月 20 日に種まき用のパレットに種子を蒔き出しました。種子は乾燥させて紙袋に入れたものを冷蔵庫と冷凍庫に入れ、キッチンペーパーで包んで水に浸し湿らせたものを冷蔵庫と冷凍庫に入れました。4 種類の環境で発芽率を確認したところ、湿らせて冷凍庫に入れたものは一つも発芽しませんでした、他の 3 つはすべて 100% 発芽しました。

発芽したものは 5 月 19 日に植木鉢とプランターに植え替えました。植木鉢はプラスチックのコンテナに入れて水を入れた腰水にして管理しました（次頁上写）。

植え替え後は成長具合に大きな違いが見られ、枯れてしまうものも一定数ありました。ミコシギクは栽培種ではないので、すべての種子が同様に成長するのではなく、このように様々な成長度合いがあるのが自然な在り方だと思います。



発芽状況（2025 年 5 月 14 日）



植木鉢に植え替え後（2025 年 5 月 18 日）

順調に成長する個体は多くありましたが、少数は葉が開かずに先端で丸まってしまう個体がいくつか見られました。専門家に写真を送り意見をいただきましたが、病気だから除去したほうが良いという意見と病気ではないという意見があり、とりあえず、除去せずにプランターに6本をまとめて経過を観察することにしました。下写真は5月29日の状態で先端の葉が丸まっ



（2025 年 5 月 29 日）



（2025 年 7 月 31 日）

ています。上右写真は7月31日の状態ですが、各個体の真ん中あたりの葉が小さく縮れています。ここが左の写真の縮れたところで、ここから新たに成長が始まり、現在はツボミをつけています。

発芽・生育実験を行ったミコシギクのうち、約40%は枯れてしまいましたが、他の個体は成長に大きなばらつきが見られました。10月15日現在で、高さは最少で12cm、最大で80cmです（次頁上写真）。その他は30～50cmの個体が多くあり、いずれの個体も茎の下の方の葉が枯れていますが、三太郎池湿地のミコシギクには茎の下の方の葉が枯れているものは見られません。自然状態と比較して水分が足りない可能性があると考えられます。自生地では常に水につかっている湿潤な環境で、新しい水が供給され続けているような環境です。30～80cmのもの12本はツボミをつけましたが、30cm以下の13本はツボミをつけていません。大きな個体ほど数多くのツボミをつけるようで、80cmの個体は8個のツボミをつけています。鉢植えのものはまだ開花しておらず、自然状態より開花が遅いようです。

今年はミコシギクの種子が数多く採取できると思われます。来年さらに数多くのミコシギクが開花するように、新たな発芽・生育実験を進めるつもりです。



30～50 cm (2025 年 10 月 15 日)



最少 12 cm (2025 年 10 月 15 日)



最大 80 cm (10 月 15 日)



発芽・生育ミコシギクのツボミの状態 (2025 年 10 月 15 日 : 右は8個ついている)